

## 第4章 新エネルギー等に関する町民意識

町民の新エネルギー等に関するアンケート結果として、以下のような特徴が挙げられる。

- 地球温暖化およびエネルギー問題への関心は、全体の91%と高く、ほとんどの人が日本のエネルギー現状について不安に思っている。
- ニセコ町として、地球温暖化問題や新エネルギー導入に向けて取り組むことについては、回答した町民のほぼ全てから支持されている。
- 新エネルギーのなかでも、太陽光・熱利用、雪氷熱利用、風力発電、廃棄物利用に関心が高い。
- 「ニセコ町での導入に適した新エネルギー」として町民がイメージを持っているのは、雪氷熱利用が最も多く、またマイクロ水力発電も上位にある。これは本町の自然的特性を反映しているものといえる。
- ニセコ町に導入する新エネルギーの活用法としては、住宅利用への期待が高く、続いて、学校や観光・文化・福祉施設への利用である。
- 新エネルギー導入を進めるためには、町民の地球温暖化対策への意識向上が必要と考えられている。次いで、補助制度の充実や公共施設・機関での導入実施が不可欠としている。
- 全体の90%以上で、家庭にも新エネルギーを導入したい意向があるが、トータルコストが既存設備よりも同程度以下の条件付きである。
- 家庭に導入したい新エネルギーとしては、太陽熱・光利用が大半で、次いで風力発電である。

### 4.1 調査目的

本ビジョン策定の参考とすることを目的として、ニセコ町住民を対象に、地球温暖化問題への認識、家庭レベルでの省エネ取組み状況、新エネルギー導入に関する意向等についてアンケート調査を行った。調査票については、参考資料5（資料編43頁）に掲載した。

### 4.2 調査方法

住民基本台帳から無作為に抽出した一般400世帯にアンケート協力を求めた。実施期間は平成15年10月20日から10月27日であり、郵送による配布を行った。最終的な有効回収数は158世帯で、回収率は39.5%となった。

### 4.3 調査結果

#### 4.3.1 回答者属性

アンケートで得られた回答者の属性について、比率にて示す。

年齢構成としては、10代を除いてひととおりの世代から回答が得られた。

職業としては、主に会社員、主婦、無職が多いが、概ね全ての職種から回答が得られた。

住居形式としては、戸建てが70%以上を占めており、ニセコ町の実態に近いものと考えられる。

居住地区としては、市街地域が多く、これも実態に近いものと考えられる。

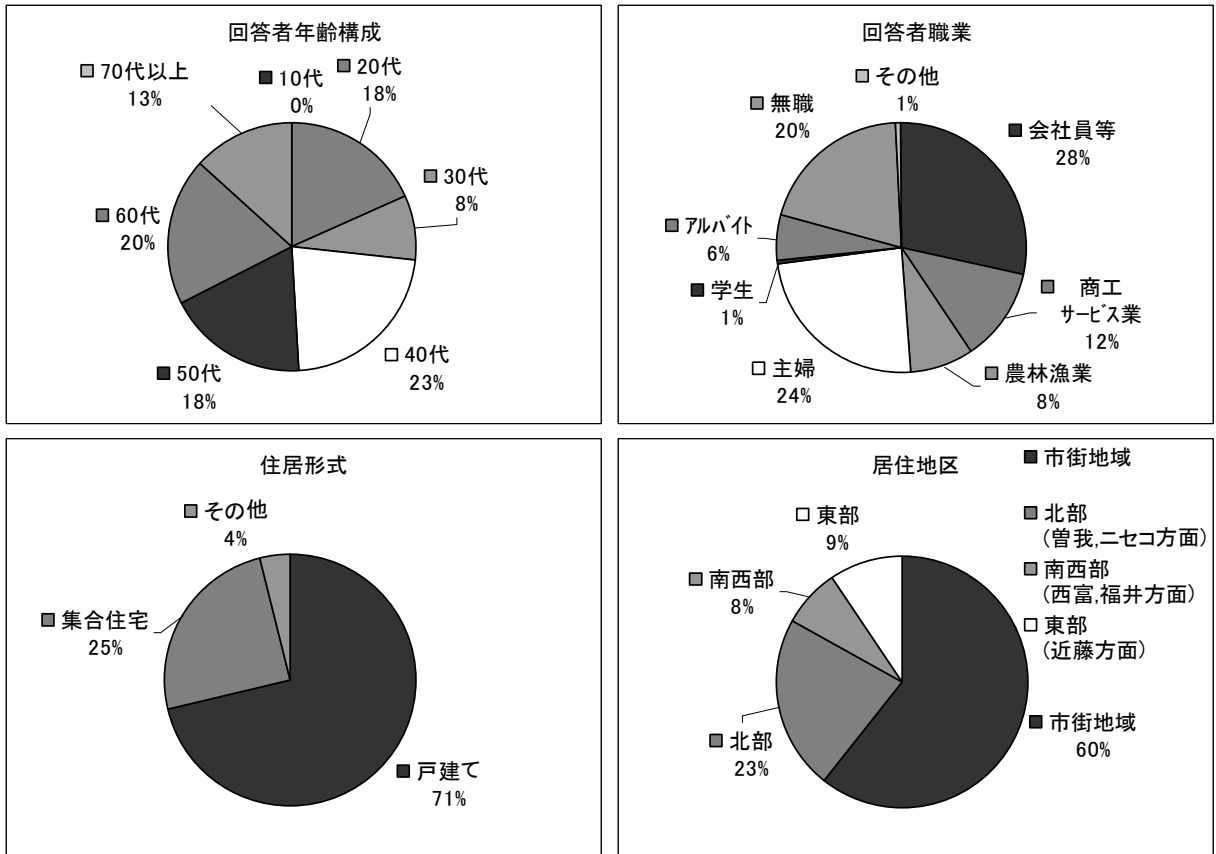


図 4-3-1 回答者の属性別比率

### 4.3.2 地球温暖化・新エネルギー問題全般について

地球温暖化・新エネルギー問題全般に関する回答について示す。

地球温暖化およびエネルギー問題への関心は、全体の91%と高く、日本のエネルギー現状について不安に思っているのがほとんどである。

地球温暖化問題については、84%が認識しており、二酸化炭素削減への行動に対する認識も同じような割合であることがわかる。

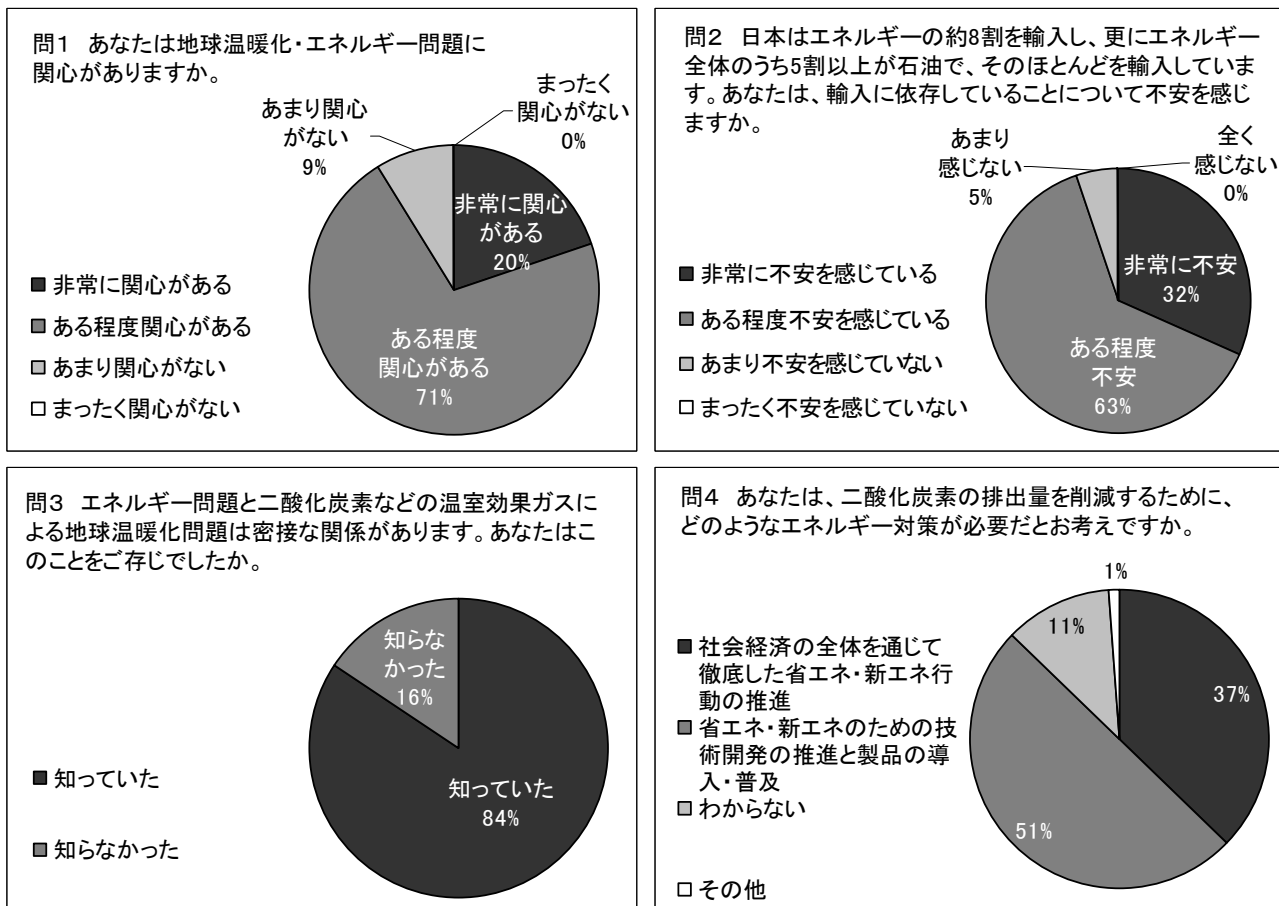


図 4-3-2(1) 地球温暖化・新エネルギー問題全般に関する回答

年代別に回答の分布をみても、いずれの年代でも問題意識は高く、特に 30～50 歳代で高い傾向がみられる。

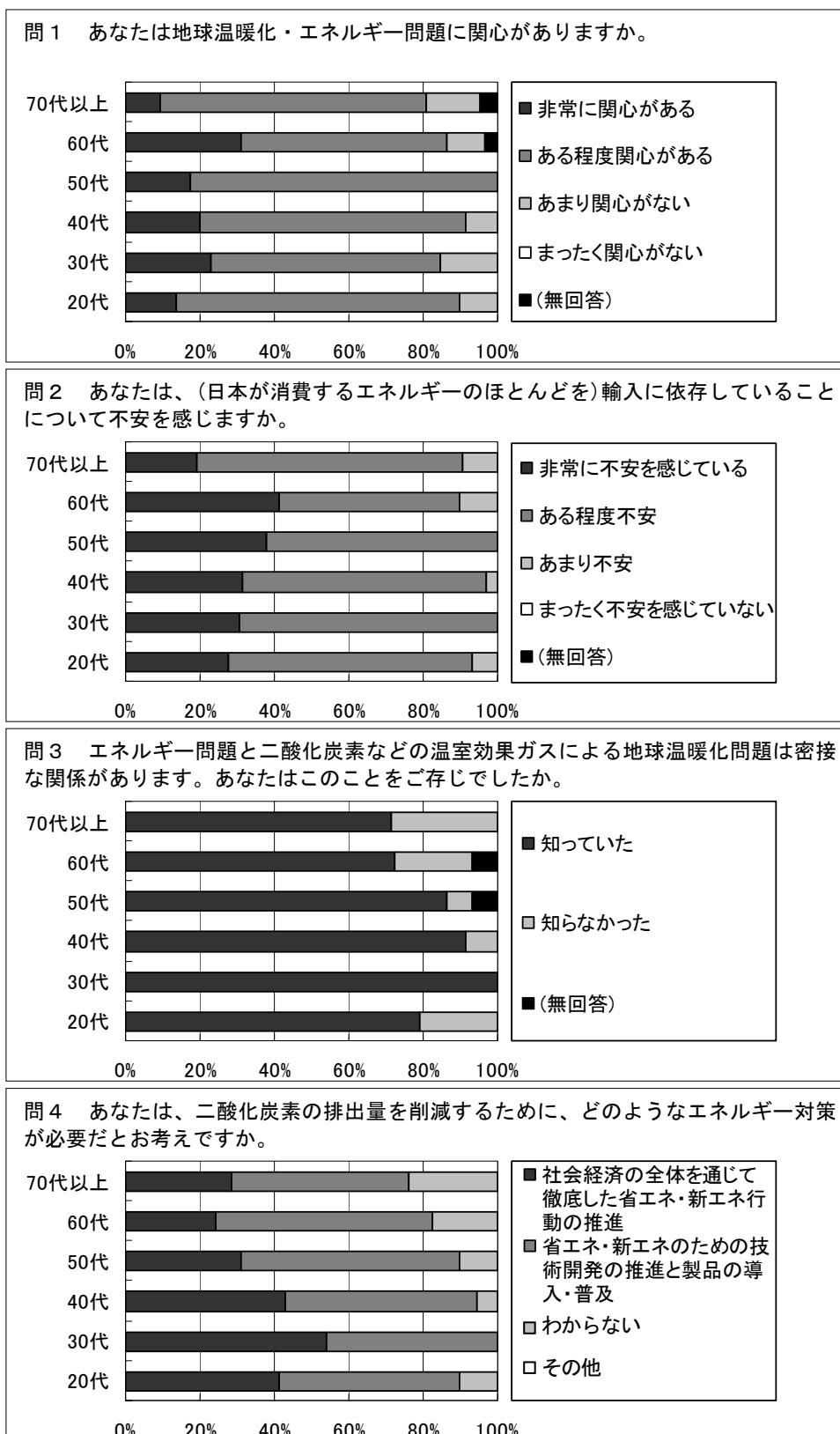


図 4-3-2(2) 地球温暖化・新エネルギー問題全般に関する年代別回答

ニセコ町として、地球温暖化問題や新エネルギー導入に向けて取り組むべきとの意見は90%を超えており、かなり高い支持が得られるものと考えられる。

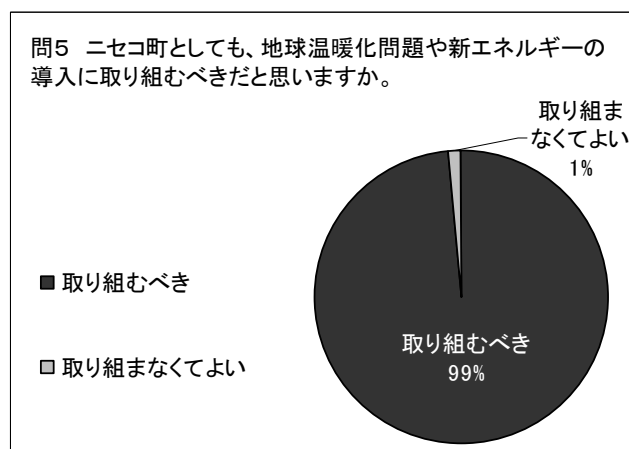


図 4-3-3 ニセコ町としての取組みについて

### 4.3.3 家庭での省エネルギーへの取組みについて

家庭における省エネルギーへの実際の取組み実態としては、ごみ分別の徹底が最も多く、次いで、燃料消費に関わる項目の取組みと、待機電力を配慮した取組みが多く行われている。

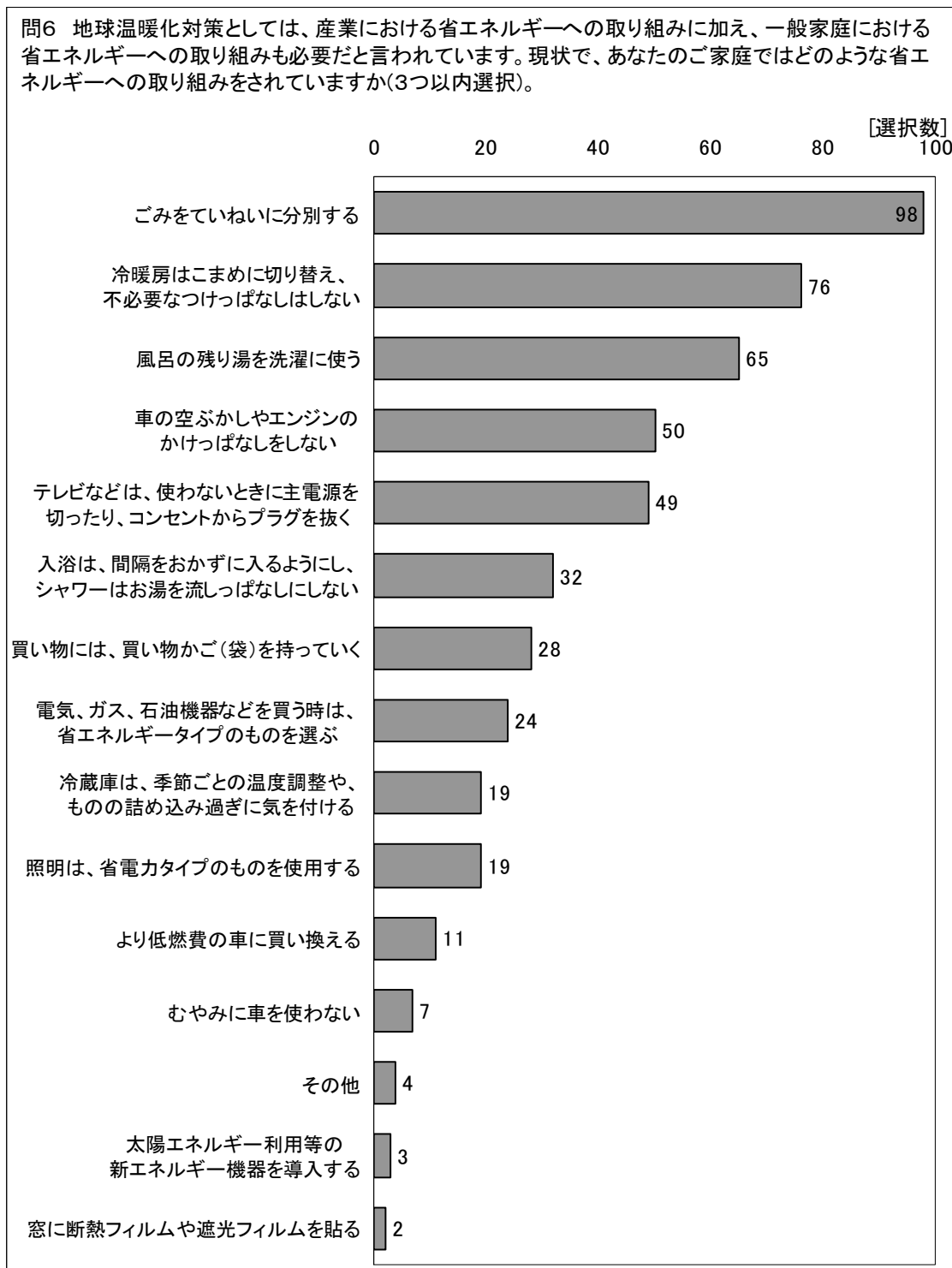


図 4-3-4 家庭での省エネルギー対策

#### 4.3.4 新エネルギー導入について

太陽光・熱利用、雪氷熱利用、風力発電、廃棄物利用に関心が高い。

実際にニセコ町に導入をするものとしては、上記の関心が高いものの中でも雪氷熱利用が最も多く、マイクロ水力発電に関心が高いなど、ニセコ町の自然的特性を反映していると思われる。

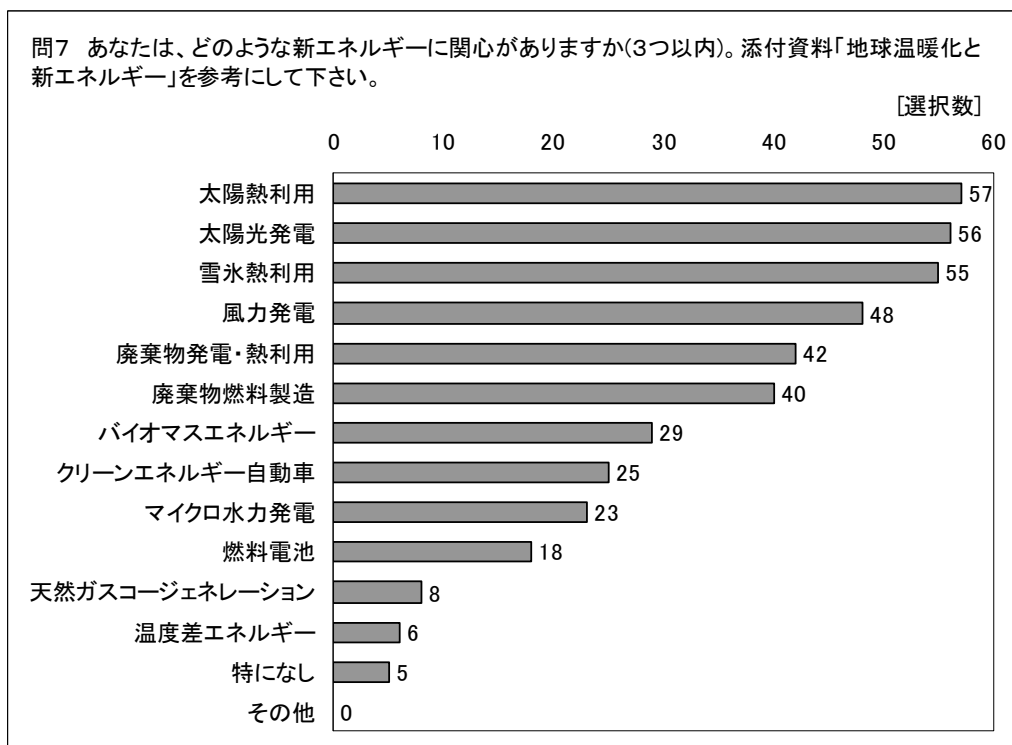


図 4-3-5 新エネルギーへの関心

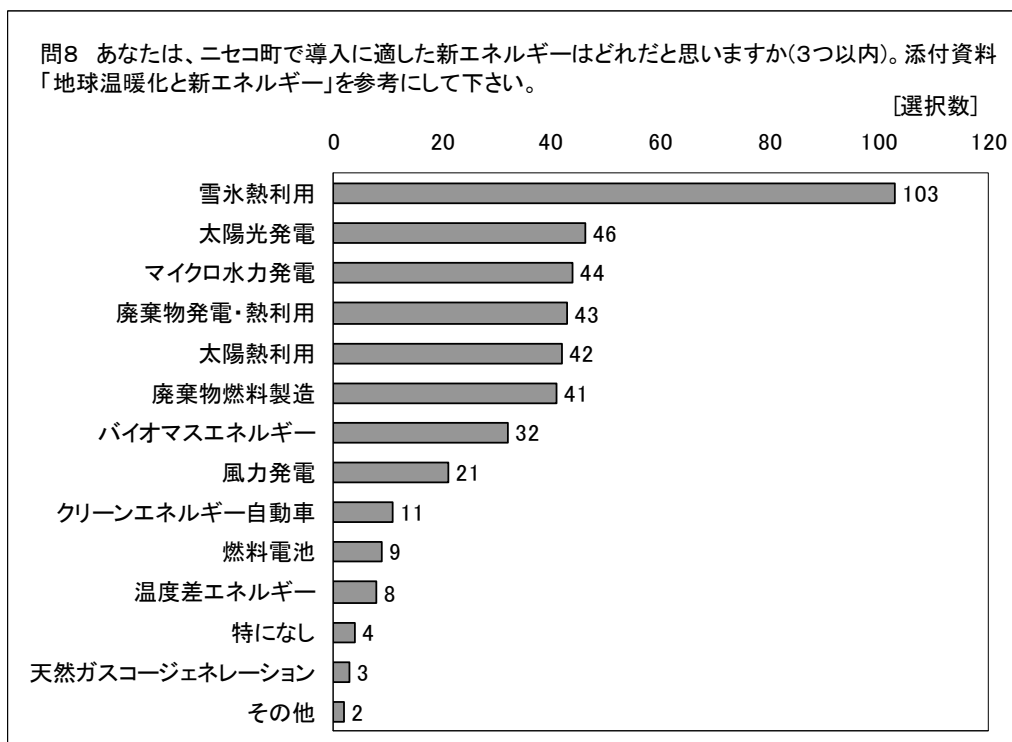


図 4-3-6 ニセコ町に適した新エネルギーのイメージ

新エネルギーに期待するものとしては、環境面へのメリットと代替エネルギー資源としての期待が高い。

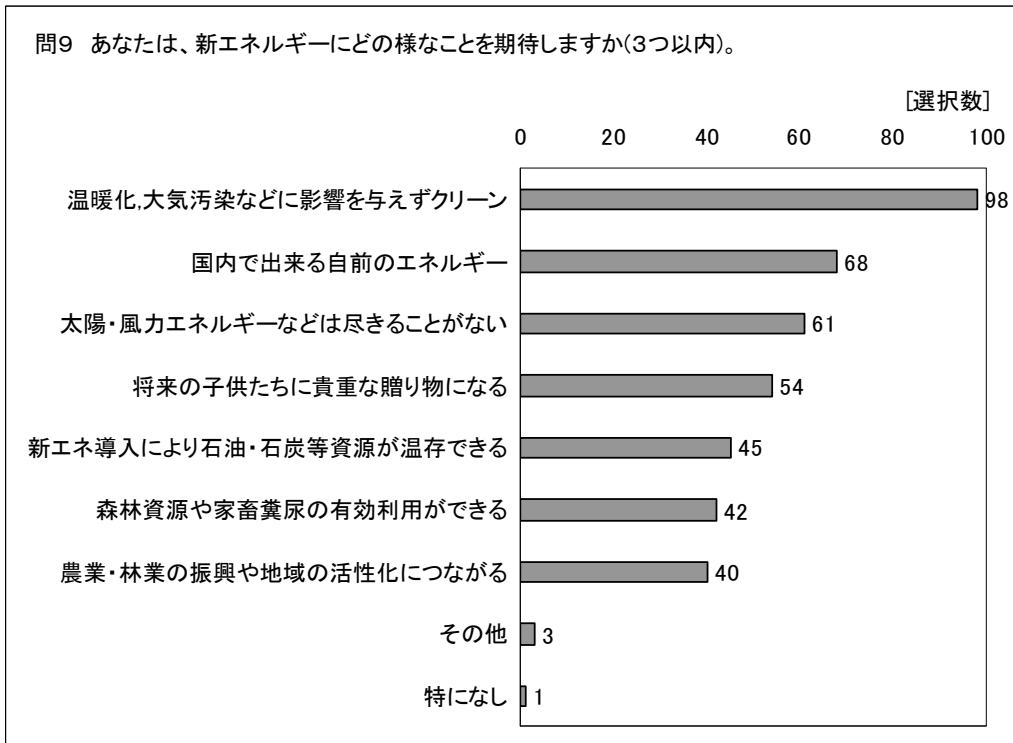


図 4-3-7 新エネルギーへの期待

ニセコ町に導入する新エネルギーの活用方法としては、住宅利用への期待が高く、学校や観光・文化・福祉施設への利用がこれに次いでいる。

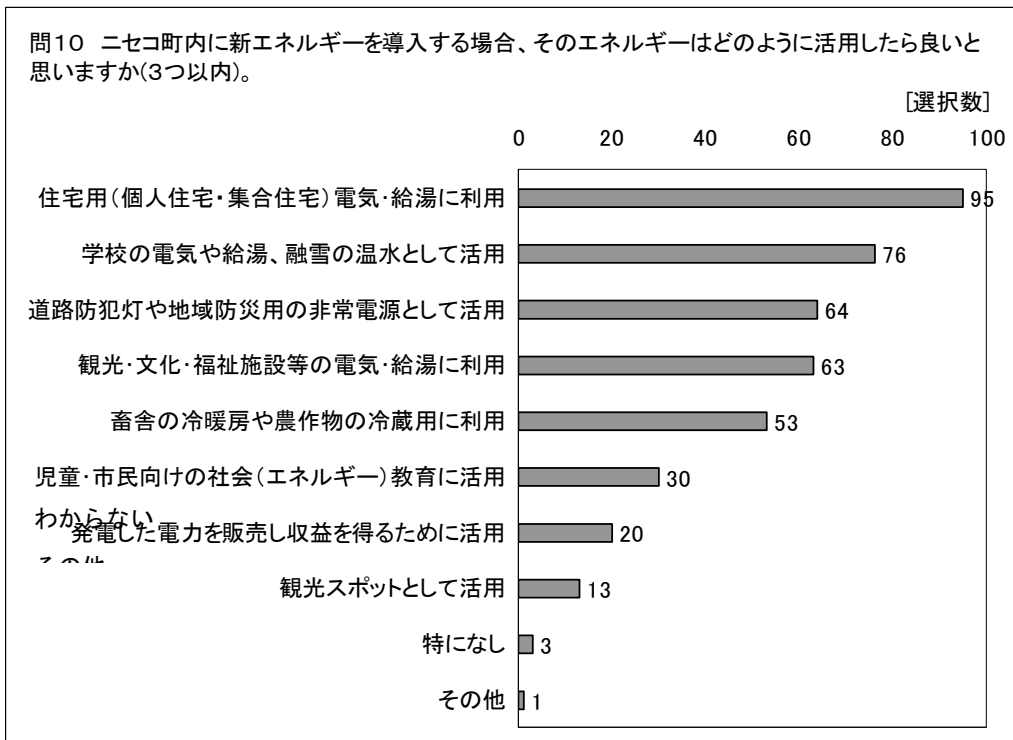


図 4-3-8 ニセコ町導入新エネルギーの活用イメージ



新エネルギー導入を進めるための取組みかたとしては、まずは町民の地球温暖化対策への意識向上が挙げられており、回答者個人の認識では90%以上で認識されているにも関わらず、周りをみると温暖化対策への問題意識が足りないといった雰囲気がある。次いで、補助制度の充実や公共施設・機関での導入実施が不可欠であるとされた。

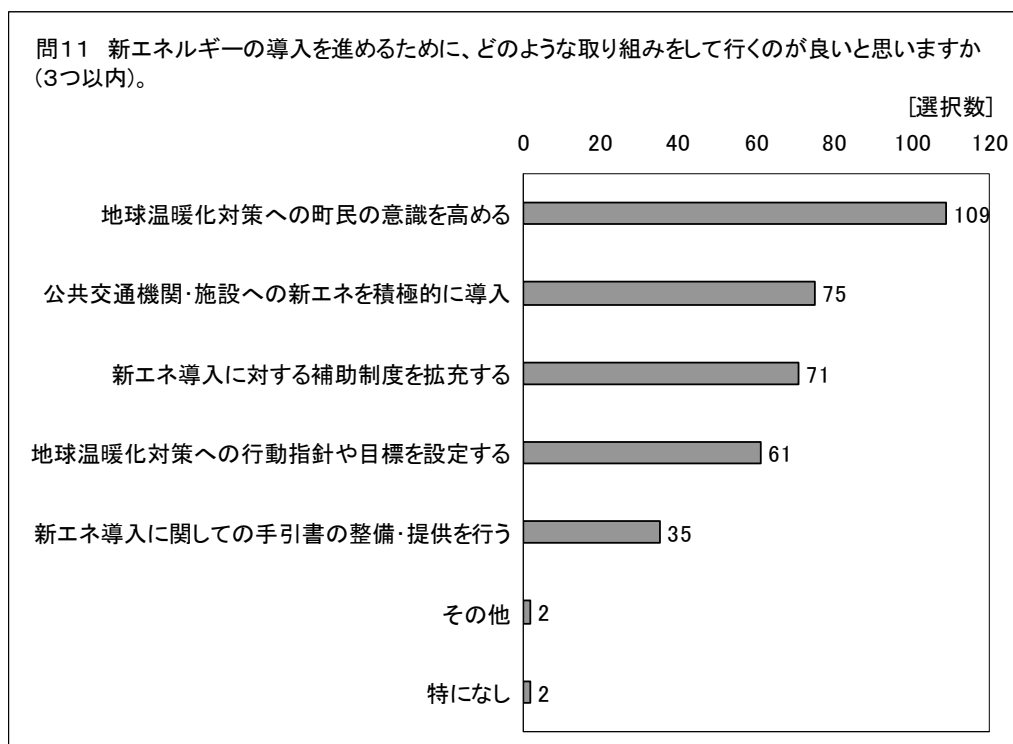


図 4-3-9 新エネルギー導入にあたっての取組み方イメージ

#### 4.3.5 家庭での新エネルギー導入について

ニセコ町としては、新エネルギー導入を支持する回答が多かったが、家庭レベルでの新エネルギー導入の意向については以下のようなになった。

わずかに2件であるが、新エネルギー導入の実績がみられた。内訳としては、太陽熱温水器と太陽光発電が各1件である。

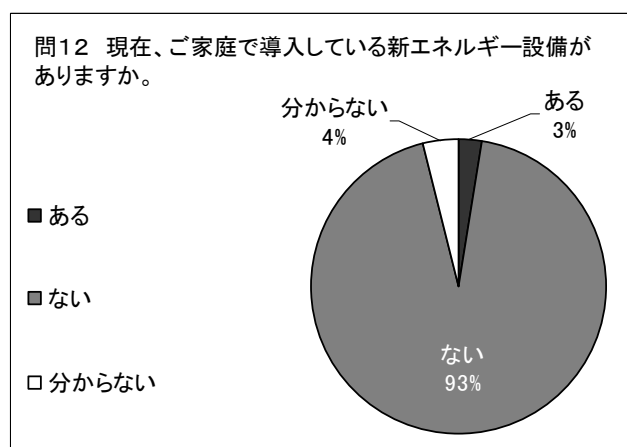


図 4-3-10 新エネルギー導入実績

家庭での新エネルギー導入については、肯定的な意見が91%であるが、このうち90%は「トータルコストが同程度以下」ならばの条件付きでの意向である。

導入したい場合の新エネルギーとしては、太陽熱・光利用のものが大半で、次いで風力発電である。

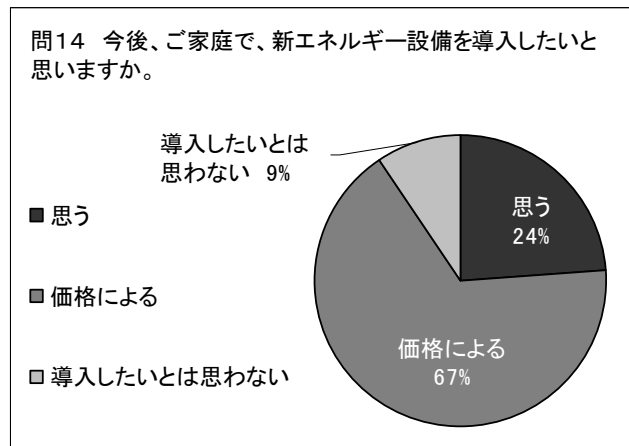


図 4-3-11 家庭への新エネルギー導入の意向

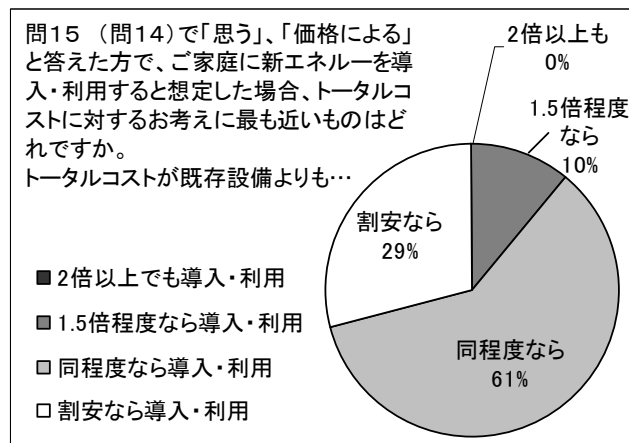


図 4-3-12 家庭への新エネルギー導入にあたってのコスト条件

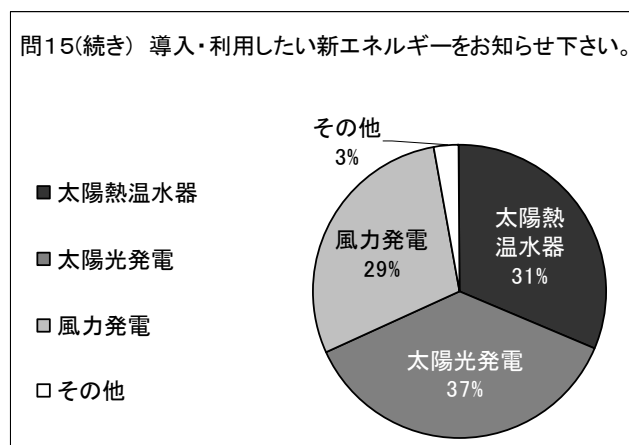


図 4-3-13 家庭に導入したい新エネルギー

その他の自由意見については、参考資料6（資料編 49 頁）にまとめた。